

平成30年度 調査研究活動計画(案)

[全体テーマ]

教育新時代に対応した定通教育の創造
～新学習指導要領の基本方針と方向性を踏まえて～

[研究課題]

- 1 確かな学力を育む教育の実践とその課題
- 2 特色ある教育課程の編成とその課題
- 3 新しいタイプの高校における教育活動の展開とその課題
- 4 通信制の特性を生かした教育の実践とその課題
- 5 開かれた学校づくりとその課題
- 6 生徒の多様なニーズに対応した教育活動の展開とその課題
- 7 定時制通信制高校における学校評価の取り組みとその課題
- 8 地域社会と連携した教育活動の展開とその課題
- 9 生徒の心身の健康増進に向けた指導とその課題
- 10 キャリア教育の推進とその課題
- 11 学校安全の推進とその課題
- 12 いじめ防止とその課題

<全体テーマと研究課題の設定について>

今回の学習指導要領改訂に関して、高等学校では、平成34年度(2022年度)より、年次進んで実施予定とされている。高等学校では、改訂の基本方針として「生涯にわたる社会生活やより主体的な社会参画、その後の専門的な学習のために必要となる資質・能力」を身につけることが掲げられている。

つまり、「義務教育を終える段階で身につけておくべき力は何なのか」ということと、「卒業時の段階で身につけておくべき力は何か」という観点で、新しい教育課程を考えていかななくてはならない。そして、それを実現するためには「主体的・対話的で深い学びの視点」や「社会に開かれた教育課程」を目指していく必要があるであろう。

様々な入学動機や、学習歴を持つ生徒たちが学ぶ定時制通信制高等学校では、近年、さらに一人ひとりの目的が多種多様となり、現実とその生徒たちと相対している先生方としては、日々の取り組みが大切になってきている。

そこで、平成30年度は、全体テーマは継続しつつ、新学習指導要領改訂の基本方針に触れながら、12の研究課題を継続し、より充実した調査研究に取り組んでいけるように考えた。

調査研究部は、今年度も本部研究の他に研究協議大会で報告された各都道府県の特徴ある取り組みなど、参考になる情報を伝達していきたいと考えている。併せて、研究協議会の様子や都道府県の情勢についても報告していきたい。